

環境・子育て委員会ニュース



竹下和男先生の食育講演会を開催しました！

10月1日(土)10時~12時 南組合員センター「はーもにー」にて竹下和男先生をお迎えし「弁当の日と子育て」というテーマで食育講演会を開催いたしました。香川医療生協では、5月に玉藻公園で開催した「いきいき健康交流集会」で始めて竹下先生に公演をお願いしました。そこでの公演は涙あり、笑いあり色々な事に感謝し、色々な事を改めて考え直すきっかけにもなる素晴らしいものでした。そこで環境・子育て委員会ではこのお話を是非、子育て中のお母さんに聴いていただきたいと企画し、へいわこどもクリニックと共に組合員さんや地域に発信し、高松市教育委員会の後援をいただきました。



参加者はスタッフを含め81名。組合員比は62%でした。今回は5月に聴いた方も、また是非聴きたいと参加されたり、口コミやメディアからの情報で子育て世代も多く参加できました。

子供が将来1人で生きていける為に親として伝えておかなければいけない事は沢山あります。勉強や運動、友達との事、人とのつながり…。でも、一番大事なことを忘れていたように思います。それは「生きる事の基本」毎日あたりまえのように繰り返されている「食べる事」です。この講演を聴き、一人でも多くの方が食育の大切さに気づき、一番大切な子供たちが食事(弁当)を作る事で、全ての人に感謝する気持ち、共感する気持ちを学べたらと思いました。そして、今健康で伝える事が出来る事にあらためて感謝です。何日か経って、参加したお母さんたちから、「早速一緒にご飯を作りました。」「一緒に作ると時間はかかるけど続けて行きたいです。」という話を聴き、嬉しく思いました。

竹下先生の公演は、がんが再発し、余命5ヵ月と宣告された女性のお話から始まりました。幼い娘にどうしても残しておかなければいけない事、生きて行くために必要な事、食べる事…。「生きるすべて」を伝えるため、母から5歳の娘「はなちゃん」への食育が始まりました。お母さんとはなちゃんの映像が映し出され会場は涙でいっぱいになりました。はなちゃんは現在小学3年生。お母さんとの約束を守り、毎朝お父さんの為に、毎日鰹節を削りお味噌汁を作ります。

